

全国から観光客を呼び込もうとする大型観光交流キャンペーン「あいたい兵庫デスティネーションキャンペーン（DC）」のオープニングイベントとして4月1日、なないろ館でうずしお島びらきが開催されました。



▲海に投げ入れられる樽



▲新しくクイーン淡路なった富田さん（左）と松井さん（右）

バスターミナルでお花見

陸の港西淡

陸の港西淡バスターミナル内に、大きな桜の木が花を咲かせました。この桜は、福岡造園緑化㈱の福岡清さんが仕事に、やむなく切らなければならなくなった桜の木をどうにか活用できないかと考え、観賞用に加工されたものです。住民の人やバスを降りた観光客など、たくさんの人が立派な桜の前に立ち止まり、お花見を楽しんでいました。福岡さんは、「ちょっとしたアイディアがこんなに皆さまに喜んでもらえてビックリしている。とても嬉しい」と笑顔で話していました。



▲お花見を楽しむ観光客



▶左から、1列目〓中田市長、坂さん、中尾さん、田原さん、中川さん、2列目〓藤田さん、三原さん、出田さん、赤木さん

全国大会前の壮行会で中田市長が選手を激励しました。（3月17日）

中尾 玲華（三原中）
田原 鈴奈（三原中）
中川 さつき（三原中）
坂 莉奈（神代小）

3月27日～29日、東京で行われた「全国JOPジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会」に、市内のスイミングスクールに通う4人が出場しました。

◆85kg級
三原 真吾
ジュニアオリンピック水泳大会に出場

◆75kg級
藤田 真奈美

保育園と介護施設を合わせ持った施設



▲松帆高屋にできた「ういず」

子どもと高齢者のふれ合いは、互いに影響し合って、子どもの心の発達や、高齢者の情動機能や運動機能に良い影響を及ぼすと言われています。このたび、島内で初めて保育園と介護施設を合わせ持った幼老複合型施設「ういず」が松帆高屋に完成し、介護施設が昨年12月から、保育園が4月から、0歳～1歳までの乳幼児を受け入れて、開園されています。

この複合型施設は、社会福祉法人「みかり会」（谷村誠理事長）が開設、運営しており、施設長の山本ひとみさんは、「施設というより一緒に過ごす『家』という生活空間の中で、お年寄りや乳幼児、職員が、喜びと安らぎを共に感じ合える環境づくりに心がけています」と話しています。



▲一緒に過ごす触れ合い

島内初の幼老複合型施設「ういず」

志知高校の沿革をつづったパネルが3月31日、淡路志知郵便局に寄贈されました。このパネルは同郵便局から、「この地に志知高校があったという証を形として残したい。地域の人が気軽に寄れる郵便局に設置すれば、何年か経った後にも思い出し出がえるはず」という申し出があり設置されたもの。閉校間際の志知高校（松本直美元校長）との間で急遽設置されることになりました。

パネルコーナーには、志知高校の記念誌や訪れた人がメッセージを残す「思い出ノート」などが設置され、「ゆかりのある人にはぜひ一度訪れてもらいたい」と近藤利明郵便局長は話しています。なお、今回設置されたパネルは縮小版。三原高校と志知高校の両校の沿革をつづった



▲淡路志知郵便局に寄贈されたパネル

グラウンドを守る！

ボランティア活動

松帆古津路老人クラブ（馬部忠代表）と、SC21まつほランドゴルフ部（波戸政義代表）の方々が、ボランティアで4月13日、西淡社会教育センターグラウンドの整備作業を行いました。海からの風や潮によるゴミの流入やグラウンドの侵食を防ぐため、瓦での地盤補強や杭打ちしてのネット張りなど、機械等も好意で持ち込まれて綺麗に整地まで行われました。



▲日本語教室で勉強する児童たち（湊小学校）

外国人児童・生徒のための翻訳教材として、平成19年に作製された社会科副読本「キッズ南あわじ」を抜粋し、ポルトガル語・スペイン語・中国語の3か国語で書かれた外国語版が作製されました。現在、市内の小中学校に通学している外国人児童・生徒は16人。文科省の事業指定を受け、その活動の1つとして子ども向け日本語教室も行っ

ています。この本は「私たちの市の様子」というテーマで合併の変遷や市の産業など、自分たちの身近にあるものから、楽しく日本語を勉強してもらうための教材として活用されています。自分から積極的に話せるようになることで、学校生活でも生き生きとした表情を見せています。



▲3か国語「キッズ南あわじ」



▲杭打ちしてネット張り。重機などを持ち込んで整備

おめでとう

ママさんバレー南淡全国大会優勝

ママさんバレー南淡が3月に開催された「世界にはばたけ！ママさんバレー第4回ローソンカップ」で優勝しました。（24頁に関連記事）

メンバー一覧（敬称略）

稲山 桂子
赤木 富美子、森 千尋
近藤 紀子、阿部 まゆみ
清水 裕美、豊田 たか子
桑嶋 久視子、雨堤 昌子
森 廣子、出田 洋子
坂本 里美、酒部 真由美

ウエイトリフティング全国大会に出場

3月27～29日まで石川県で行われた「全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会」に、淡路高校に通う南あわじ市在住・出身者から次の方々が出場しました。

地域の催しや明るい話題などが「さいましたら、気軽に広報係までご連絡ください。」
☎43・5003(情報課)

